

平成30年度「障害者週間」関係機関・団体 関連行事

【関係機関・団体 関連行事:計24件】

NO.	省庁名 (所管省庁/主催機関・団体)	行事・取組名称	内 容	開催期間 <開催時刻>	開催場所	一般参加 の可否	WEB情報	問 合 先
1	総務省	第24回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in やまぐち(幕末ISHIN)	「維新発祥の地 海峡の風にのせて～つなごう聴こえの架け橋を～」をテーマに、山口県下関市にて中途失聴者・難聴者、人工内耳装用者、要約筆記者、難聴児やその親、一般者が参集し、聞こえに関する問題について分科会および講演にて交流・親睦と研修、自己啓発を図ると共に難聴への理解を深めることを目指している。また、2日目の会場では補聴器や人工内耳等聞こえに関する機器等も展示している。	平成30年11月24日(土)～11月25日(日) ①11/24(土) 13:00～16:30 ②11/25(日) 9:45～15:10	①下関市山口県国際総合センター(海峡メッセ) ②下関市生涯学習センター(ドリームシップ)	○	https://www.zennancho.or.jp/special/fukushi/	一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会(略称:全難聴)事務局 TEL:03-3225-5600 FAX:03-3354-0046 E-mail:zennancho@zennancho.or.jp
2	総務省	情報通信アクセス協議会 ウェブアクセシビリティ基盤委員会	これから取り組むWebアクセシビリティ2018冬	平成31年1月18日(金)午後	大阪産業創造館 会議室(大阪市中央区)	○	https://waic.jp/	情報通信アクセス協議会事務局:(一社)情報通信ネットワーク産業協会 ICT機器部 TEL:03-5403-9354 FAX:03-5403-9360
3	法務省	日本司法支援センター	当センターのサービス(特定援助対象者法律相談援助)の周知	平成30年11月～平成31年1月の間の月1～2回	法テラスメールマガジン、Twitterによる配信		https://twitter.com/houterasu_4_10	日本司法支援センター総務部広報・調査室 TEL:0503383-5348
4	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	研究所公開	「発見、体験、特総研!～深めよう知識・広げよう理解～」をテーマに、特別支援学校生徒によるあん摩マッサージ体験、就労系障害福祉サービス事業所等による販売、障害者スポーツ「ポッチャ」の体験、作家・中村勝雄氏による講演～車イスの子育て奮闘記!～や、当研究所の研究紹介を行う。	平成30年11月10日(土)9:30～16:00	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(神奈川県横浜須賀野比5-1-1)	○	http://nc.nise.go.jp/news/2018/072702	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所総務部総務企画課総務・広報係 TEL:046-839-6803
5	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	横須賀市児童生徒ふれあいフェスタ～ワークショップの部～	学校等の教職員、保護者、一般市民を対象として、自閉症を含む発達障害に関する理解啓発を図ることを目的とし、発達障害教育に関する理解を深めるためのワークショップ(教材等の展示、心理的疑似体験、研究の紹介など)、横須賀市立横須賀総合高等学校の障害理解に関する取組の紹介を行う。	平成30年12月2日(土)10:30～15:30	横須賀市文化会館(神奈川県横須賀市深田台50)	○	http://iced_new.nise.go.jp/	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所総務部総務企画課総務・広報係 TEL:046-839-6803
6	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	NISE特別支援教育国際シンポジウム	テーマを「障害のある子どもと障害のない子どもの交流をめざしてー 日韓の取組から今後のインクルーシブ教育システム推進を展望するー」とし、諸外国におけるインクルーシブ教育の動向に係る調査結果及び韓国の教育制度と基本情報の報告、韓国の教育現場における障害のある子どもと障害のない子どもの交流の様々な取組の報告、日本のパネリストによる実践事例の報告などを行う。	平成31年2月2日(土)13:00～17:30	一橋大学一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)	○	http://nc.nise.go.jp/training_seminar/special_symposium/h30	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所総務部総務企画課総務・広報係 TEL:046-839-6803
7	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	国立特別支援教育総合研究所セミナー	国立特別支援教育総合研究所では、研究活動等の成果普及や理解啓発等のための情報発信を目的として、毎年、セミナーを開催している。今年度は、インクルーシブ教育システムの推進ー多様な学びの場における研究所のコンテンツ活用ーをテーマとして、特別支援教育を推進するための研究所のコンテンツ紹介、研究成果発表、ポスター展示、発達障害の通級指導に関するシンポジウムなどを行う。	平成31年2月15日(金)13:00～17:00 平成31年2月16日(土)9:30～16:00	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町3-1)	○	http://nc.nise.go.jp/training_seminar/seminar_main	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所総務部総務企画課企画評価グループ企画評価係 TEL:046-839-6897
8	全国特別支援教育推進連盟 文部科学省 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	第41回全国特別支援教育振興協議会	平成28年4月1日に障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)が施行された。この法律では、障害のある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会を目指しており、「不当な差別的な取り扱いを禁止し」、「合理的配慮の提供」を求めている。今年度の振興協議会では、昨年度に引き続き、共生社会の実現に向けてPTAや地域の取り組み及び合理的配慮について学校等での実践事例発表を通して現状と課題を参加者と一緒に考えていく。 主題 「学校教育におけるインクルーシブ教育システムの充実に向けて」 1部 共生社会の実現に向けたPTAや地域の役割について 2部 学校教育における合理的配慮について 実践事例報告 シンポジウム	平成30年12月7日(金)9:45～16:00	独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟 国際会議室	○	http://suishinrenmei.c.ooco.jp/jigyoku/keikaku.html	全国特別支援教育推進連盟 TEL/FAX:03-3433-7717
9	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	障がい者スポーツの講演会	自治体や関係団体等に対して、障がい者スポーツの紹介、最新情報など障がい者スポーツの理解を深める講演会を行う。障がい者スポーツを通して、障がいの理解が進むように、誰もがわかりやすい内容で行う。(つくば市、芝浦工業大、武蔵野大学、体育施設協会、企業等)	平成30年11月19日(月)～12月15日(土)	11月19日(月):つくば市 11月20日(火):芝浦工業大 12月6日(木):武蔵野大学 12月15日(土):一宮市	×	http://www.jsad.or.jp/	日本障がい者スポーツ協会総務部 TEL:03-5939-7021 FAX:03-5641-1213
10	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	I'mPOSSIBLE 絵画・作文コンクール	障がい者スポーツ、パラリンピックの教育教材として国際パラリンピック委員会(IPC)公認教材のI'mPOSSIBLEが発表され、全国の小学校へ関係教材が配布された。徐々に障がい者スポーツの認知度が上がりつつある中、全国の小学生を対象に、パラリンピックの価値をテーマに絵画と作文を募集し、優秀作品を表彰する。	募集期間 平成30年10月上旬～11月12日(月) 表彰式 平成30年12月2日(日)	表彰式:日本障がい者スポーツ協会 会議室	×	http://www.jsad.or.jp/	日本障がい者スポーツ協会総務部 TEL:03-5939-7021 FAX:03-5641-1213

NO.	省庁名 (所管省庁/主催機関・団体)	行事・取組名称	内 容	開催期間 <開催時刻>	開催場所	一般参加 の可否	WEB情報	問 合 先	
11	文化庁	独立行政法人日本芸術文化振興会 公益財団法人新国立劇場運営財団	『スカイライト』公演での視覚・聴覚に障害を持つお客様への観劇サポート	演劇『スカイライト』上演に際し、それぞれ以下のサポートを提供する。 視覚に障害を持つお客様：開演前に舞台美術や小道具の位置関係、あらすじ、登場人物を説明する。ご本人とのお付き添いの方がご利用できる。舞台上に近い優先席を設ける。 聴覚に障害をもつお客様：セリフや音の情報を文字でご覧いただける手持ち型ポータブル字幕機を貸出する。字幕機を利用されるの方がご利用できる優先席を設ける。	平成30年12月13日(木) 14:00開演 平成30年12月15日(土) 13:00開演	新国立劇場小劇場 (東京都渋谷区)	○ (定員あり)	https://www.nntt.jac.go.jp/play/news/detail/13.012937.html	公益財団法人新国立劇場運営財団 ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 10月13日(土)10:00受付開始、 先着順各10名まで
12		独立行政法人国立美術館 京都国立近代美術館	「感覚をひらく—新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業」イベント 「手だけが知ってる美術館 第1回茶道具」	京都国立近代美術館では、地域の盲学校や大学、行政と連携して、「みる」ことを中心としてきた美術館での体験を問い直し、障害の有無を超えて、誰もが美術館を訪れ、体験できるようなプログラムを創造、構築する取組を行っている。このイベントでは、京都国立近代美術館が所蔵する茶道具(茶碗、裏、花入などの作品)、を研究員とともに手で触れ、参加者間で意見を交流させながら、茶道文化や茶道具の世界への理解を深める。視覚に障害のある方もない方も、共に作品鑑賞を行うプログラムとなっている。	平成30年11月11日(日) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00	京都国立近代美術館	○	http://www.momak.go.jp/ http://www.momak.go.jp/senses/	京都国立近代美術館 TEL:075-761-4111(代表) FAX:075-771-5792
13		独立行政法人国立美術館 国立映画アーカイブ	国立映画アーカイブ開館記念 映画プロデューサー 黒澤満	上映企画「映画プロデューサー 黒澤満」において、視覚障害者のための「音声ガイド」の使用、聴覚障害者のための「日本語字幕投影」、「磁気ループシステム」の使用を検討している。	平成31年1月8日(火)~ 1月27日(日)	国立映画アーカイブ 長瀬記念ホールOZU	○	http://www.nfaj.go.jp/2018/	国立映画アーカイブ総務課事業担当 係 TEL:03-3561-0823(代表) FAX:03-3561-0830
14	厚生労働省	一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会	第24回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in やまぐち(幕末ISHIN)	「維新発祥の地 海峡の風にのせて~つなごう聴こえの架け橋を~」をテーマに、山口県下関市にて中途失聴者、難聴者、人工内耳装用者、要約筆記者、難聴児やその親、一般者が参集し、聞こえに関する問題について分科会および講演にて交流・親睦と研修・自己啓発を図ると共に難聴への理解を深めることを目指している。また、2日目の会場では補聴器や人工内耳等聞こえに関する機器等も展示する。	平成30年11月24日(土)~ 11月25日(日) ①11/24(土)13:00~16:30 ②11/25(日)9:45~15:10	①下関市山口国際総合センター(海峡メッセ) ②下関市生涯学習センター(ドリームシップ)	○	https://www.zennancho.or.jp/special/fukushi/	一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会(略称:全難聴) 事務局 TEL:03-3225-5600 FAX:03-3354-0046 E-mail:zennancho@zennancho.or.jp
15		きょうされん	障害のある人のいのちとことばを伝える第10回つなごう映画祭	障害のある人をテーマにした作品の上映やトークイベントを通して、「この国に生まれた不幸を重ねないために」という映画祭のテーマについて、会場の参加者全員で考え、交流を深めるイベントを実施する。	平成30年12月8日(土)~ 12月14日(金)	アップリンク渋谷	○	http://www.kyosaren.or.jp/	きょうされん 事務局 TEL:03-5385-2223 FAX:03-5385-2299
16	経済産業省	(公社)日本グラフィックデザイナー協会	JAGDAつなごりの展覧会 Part 1 マスキングテープ	JAGDAは、2018年から2020年までの3年間、デザインの“つなぐ力”を使って、障害のあるアーティストとパラリンピアンを支援している。第1弾となる本展では、「エイブルアート・カンパニー」に所属する障害のあるアーティストの作品を、国内外のデザイナーが、様々なものを“つなぐ”身近なアイテム「マスキングテープ」にデザインした。 テープは東京ミッドタウン・デザインハブを皮切りに、1年をかけて全国で展示・チャリティ販売を行う。会員デザイナーは職能を活かしたボランティアで参加し、アーティストには作品使用料が支払われる。製造原価を除く販売収益は「日本パラリンピアンズ協会」に寄付される。	平成30年3月~12月 ①11/16(金)~11/18(日) ②12/7(金)~12/9(日) ③12/8(土)~12/9(日)	①Any 1F 展示・販売スペース(静岡県浜松市) ②ラゾーナ川崎プラザ 2F Plaza West(神奈川県川崎市) ③ツインメッセ静岡「クリスマスフェスタ2018」内(静岡県静岡市)	○	http://www.jagda.or.jp/information/jagda/3307	公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 TEL:03-5770-7509 FAX:03-3479-7509
17		埼玉中小企業家同友会	東部地区会・社員共済委員会 11月合同例会	「障がい者雇用のハードルをあげていませんか？」 障がい者を雇用している企業の経営体験を聞いて先入観を持たずに改めて考えてみよう!	平成30年11月15日(木) 18:30~21:00	越谷中央市民会館	×	http://www.saitama.doyu.jp/	埼玉中小企業家同友会 〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2 新都心ビジネス交流プラザ10F TEL:048-747-5550 FAX:048-747-5560
18		鳥取県中小企業家同友会	米子支部12月例会	目的・趣旨:①例会を通じて障がい者雇用に対する理解を深め、自社あるいは鳥取同友会ができることについて考えていく。②障がい者雇用について考えることを通じて、人を生かす経営とはどういうことかについて改めて考えるきっかけとする。 内容:『障がい者雇用から学んだ人を生かす経営』~障がいのある社員が私と社員と会社を変えた~をテーマに障がい者雇用を実施された。(有)メタルワーク福山 代表取締役 大植 栄氏に自社の失敗談とそこから学んだ障がい者雇用取り組みについて、報告頂き、鳥取同友会での取組を考えていく機会とする。	平成30年12月19日(水) 18:30~21:00	米子コンベンションセンター(米子市)	×	http://www.tottori.doyu.jp/	鳥取県中小企業家同友会 事務局 〒689-0804 米子市米原5丁目3-20 相野ビル2F TEL:0859-30-2603 FAX:0859-30-2663 E-mail:info@tottori.doyu.jp
19	香川県中小企業家同友会	障がい者雇用講座	障がい者雇用事例報告を行う。 ■報告者 大成段ホール(株) 専務取締役 箭崎 嘉孝氏 アドバイザー 障害者就業・生活支援センター 共生 福村久美子氏	平成30年11月19日(月) 19:00~21:00	第3会議室(香川産業頭脳化センター3F)	×	https://kagawa.doyu.jp/s.event/showDetail.html?init&eid=628293	香川県中小企業家同友会 TEL:087-869-3770	
20	長崎県中小企業家同友会	ダイバーシティ委員会 第11回例会	障がい者雇用の実践編として、組織の中でどのようなステップを踏みながら障がい者雇用を実現したのか。 中小企業家同友会 会員2名の報告者より、その具体例をご紹介いただく。	平成30年11月13日(火) 18:30~20:40	サンプリエール	×	https://nagasaki.doyu.jp/s.event/showDetail.html?init&eid=628063	長崎県中小企業家同友会事務局 TEL:095-822-0680	
21	大分県中小企業家同友会	大分支部12月全体例会	「多様な価値観の受け入れにヒントあり~仕事に人をあわせるのではなく、人に仕事をあわせるという考え方~」をテーマに、障がい者を雇用されている税田和久氏((株)グローバル・クリンサービス 代表取締役)が報告。その後、参加者で「皆さんが持たれている障がい者のイメージとは、どういものでしょうか?どう能力を生かすべきでしょうか。」をテーマに討論を行う。	平成30年12月6日(木) 17:00~20:00	J.COMホルトホール大分	×		大分県中小企業家同友会 TEL:097-545-0755 FAX:097-545-0744	

NO.	省庁名 (所管省庁/主催機関・団体)	行事・取組名称	内 容	開催期間 <開催時刻>	開催場所	一般参加 の可否	WEB情報	問 合 先
22	経済産業省	大分県中小企業家 同友会	中津支部1月全体例会	実習(福祉サービス)先の企業の方、利用者が現在所属している作業所・GH(住まい)の方、実習中のサポートや現状把握してくれる方、福祉サービスに係る実習の利用調整・連絡調整をする機関の方が報告予定となっている。また、支援学校の見学も行う予定である。	平成31年1月16日(水) 18:30~21:00		×	大分県中小企業家同友会 TEL:097-545-0755 FAX:097-545-0744
23		大分県中小企業家 同友会	第3回障がい者の雇用環境フォー ラム	「障がい者と共に働き・暮らすことが、あたりまえの地域・社会をめざして」をテーマにフォーラムを開催。田中良明氏(特定非営利法人在宅就労支援事業団 理事長)が基調講演を行い、その後2つの分科会に分かれて学ぶ。	平成31年3月7日(木) 14:00~18:40	J:COMホルトホール大分	×	大分県中小企業家同友会 TEL:097-545-0755 FAX:097-545-0744
24		沖縄県中小企業家 同友会	第13回雇用・就労支援フォーラム	人は障がいの有無に関係なく、「働くこと」とおして生活に必要な技能を高め、知識を習得し、地域との関わりを広げている。「働くこと」は、自らの生活の質を高めるとともに、社会に貢献することになる。そして、働く環境を提供することは、企業の責務の一つであると考えている。沖縄同友会では、「健障者委員会」を設置して、障がいのある方や就職困難者の「働きたい」に応え、共に働くことによって、互いが共に育つ魅力ある企業づくりをすすめている。このフォーラムでは、企業をはじめ、保護者、教育、福祉、行政、保健、医療の各関係者が集い、企業の「ためらい」と「負担感」の払拭、障がいのある方の「夢」と「希望」を実現するための環境づくりについて考える。	平成30年10月27日(土) 12:00~18:30	与那原町観光交流施設	×	http://www.okinawa.doyu.jp/